

同好会報告

写真同好会



那須高原は春から夏に向かって衣替えの季節でした。遠く茶臼岳を望み、涼風が吹きわたる那須ゴンドラの展望台は、時間を忘れさせてくれました。

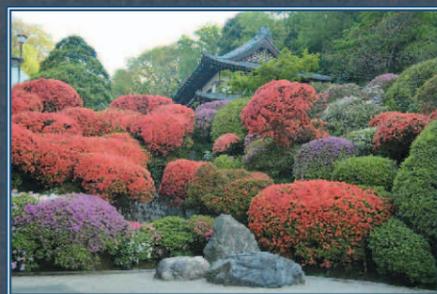
なお以下の写真は写真同好会会員の作品です、ご鑑賞ください。  
最後に、写真に興味をお持ちの方の入会を歓迎いたします。新会員を随時募集しておりますので、是非応募をお待ちしております。また写真同好会の活動状況は、東京秋工会のホームページに随時掲載しておりますのでご覧ください。

写真同好会

代表 佐々木 進 (昭和40年採鉱科卒)  
連絡先・携帯 080-5187-4422  
E-mail : geo2@kce.biglobe.ne.jp  
事務局 加藤 幸夫 (昭和36年機械科卒)  
連絡先・携帯 090-1816-2017  
E-mail : vn63kk@bma.biglobe.ne.jp

当同好会の活動は、平成26年6月に那須高原ふるさと館、9月に男鹿半島、11月に富士山と山中湖と3回の撮影旅行会を企画しましたが、何れも台風或いは集中豪雨のため中止となってしまいました。  
そのリベンジで今回ようやくオール秋田・那須高原ふるさと館に平成27年6月の12日から13日にかけて行ってきました。その詳細は東京秋工会のホームページの中の写真同好会のコーナーで赤川副幹事長から報告されています。  
オール秋田・那須高原ふるさと館は秋田県西木村出身の門脇成英さんが館長をしており、秋田県出身者の交流の場として解放されています。施設はあらゆる設備が整っており、故郷に帰ってきたような気持ちになりました。この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

写真同好会 会員作品



「ふくらむつつじ説法」  
(梅窓院より)  
三平 俊悦  
(S39A)



「けむい富士山」  
(東京湾上空より)  
三平 俊悦  
(S39A)



「岩本山公園にて」  
市川 正  
(S41E)  
早咲きの紅梅でこの木しか咲いておらず順番待ちが大変でした



「アイコンタクト」  
赤川 均  
(S41E)  
キュウリに、1センチほどのカマキリの幼虫がいて、カメラを向けるとこちらを見ていた



「山中湖にて」  
市川 正  
(S41E)  
山中湖に流れる河口が鏡のようでした



「ジャンプ」  
赤川 均  
(S41E)  
日本棋院最寄りのJR市ヶ谷駅構内の碁石の形は「長生」永遠に繰り返すことから、長寿に繋がる縁起物とされる



「ネエー踊りましょ」  
加藤 幸夫  
(S36M)  
恋人の聖地で寄り添う二本の木、ネエー踊りましょと言っているような...



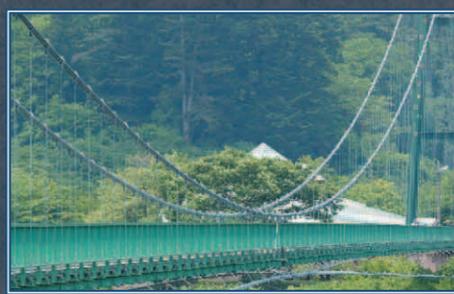
「狭い舞台」  
堀 健一  
(S38A)  
狭い浅草の道路で、競演する我が故郷



「出番待ち」  
堀 健一  
(S38A)  
我が故郷の竿燈が浅草に、提灯に堀の文字



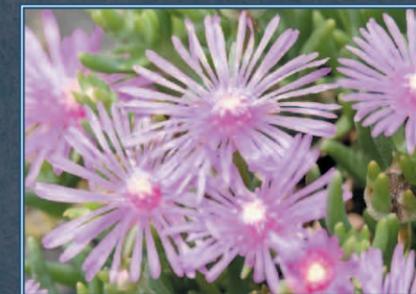
「夏近し」  
加藤 幸夫  
(S36M)  
低山の緑濃く、遠い山谷の残雪も残りわずか・・・夏近し



「もみじ谷大吊り橋」  
佐々木 進  
(S40S)  
主塔・メインケーブル・パンガーロープ・アンカーレイジ・・・放物線と直線のダイナミックな景観の素晴らしさに感激



「霧滴」  
加藤 幸夫  
(S36M)  
優しい木漏れ陽に乙女の髪のように輝く水の流れ、魅了されます



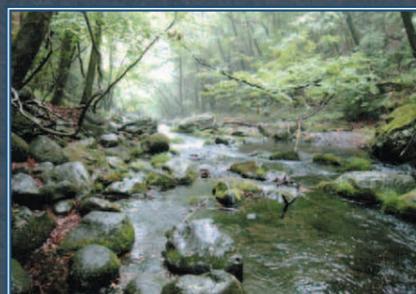
「松葉菊」  
佐々木 進  
(S40S)  
梅雨の晴れ間に陽光を浴びて、雪解けを待ちわびたかのように咲き誇る松葉菊に感動



「(通称)那須岳の遠望」  
生駒 茂  
(S33C)  
山頂付近から僅かな噴煙(静かに、静かに・・・)



千体地藏  
「皆で祈れば願いは届く」  
地主 勝巳  
(S37C)  
お地藏様の表情がそれぞれ違って嬉しい



「乙女の滝の清流」  
生駒 茂  
(S33C)  
静かな谷奥に消えて行く乙女のながれ



吊り橋  
「♪山の吊り橋しゃどなたーがとーる♪」  
地主 勝巳  
(S37C)  
橋の向こうに良いこと有り